

### 新しい情報技術の活用による行政サービスの推進

(ICT活用推進事業)

RPA・AI-OCRなどの新しい情報技術の活用を図ることで、迅速で的確な行政サービスと業務の効率化を推進しました。



【主な取組】RPA、AI-OCRの運用管理、市民公開型GISの導入、ペーパーレス会議システムの導入など

### 農産物の生産安定や収量増加などを図るための補助を実施

(農業振興事業補助事業)

地域農業の活性化に対する補助などを行い、農産物の生産安定、収量増加、地域営農組織の運営及び米麦の団地化推進による品質向上を図りました。



【実績】営農改善組合など18地区に補助金を交付

### 小学校の体育館に空調設備を設置

(体育館空調設備整備事業)

夏場の熱中症予防など、児童の安心安全な教育環境の確保とともに、災害時に地域の避難所となる学校施設の防災機能強化を図るため、市内小学校（富士松南小は体育館改築に合わせて令和5年度に設置）に空調設備を設置しました。地区行事やスポーツ開放時にも空調を利用することができます。



### 北部生涯学習センターに洲原げんきプラザを開設

(げんきプラザ整備事業)



安心安全で効果的な運動ができる場所を提供し、市民の健康づくりを推進するため、新たに洲原げんきプラザを設置しました。

【場所】北部生涯学習センター1階(井ヶ谷町松ヶ崎6-26)
【休館日】水曜日、日曜日、年末年始
【開館時間】9:30~12:00 13:00~16:30

### 刈谷市駅の駅前広場や周辺道路の整備を推進

(刈谷市駅前市街地再開発事業)



刈谷市駅の駅前広場やその周辺道路などの都市基盤施設の整備を進めるとともに、まちづくり組織に対する支援や再開発に関する計画策定の検討などを行いました。

### 馬場のぼるが描いた世界と交流

(馬場のぼる展開催事業)



11びきのねことあほうどり リトグラフ(色校用) 昭和47年

絵本「11びきのねこ」シリーズで知られる馬場のぼるの個展と関連イベントを開催し、創作世界に対する理解と親しみを深め、芸術文化の高揚を図りました。これまでの企画展の中で4番目に多い入場者数となりました。

【開催日】令和4年9月17日~11月6日
【入場者数】延べ38,879人

# 議案審議

(要約して掲載しています)

## 決算議案

### 令和4年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を66億円上回る

本会議での説明後、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。さらに、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の4分科会を設置しました。分科会では代表監査委員の出席の下、審査を行いました。28日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

## 主な質疑項目

### 街頭防犯カメラ設置事業

【問】刈谷市の犯罪認知件数は、今年に入って大幅に増えている。この数字をどう分析しているか。

【答】全国的な流れとしてコロナ禍の外出制限や様々な規制が徐々に緩和され、社会活動及び人流が活発化してきたことにより、犯罪の発生件数も徐々に増加傾向にあり、本市も同様の状況である。特に本市においては、侵入盗が本年1月から2月にかけて急増し、2か月間で前年の年間件数を上回る状況であったため、本年3月の緊急対応措置として防犯用具購入費補助制度を開始し、対策を図った。

【問】既設の街頭防犯カメラの設置位置の見直しなど、街頭防犯カメラのさらなる活用が必要になると思われるが、どう考えるか。

【答】既設の街頭防犯カメラの適切な点検とともに、今後も警察及び地域と連携し、設置箇所の選定に御意見をいただきながら、必要な箇所への設置に努める。

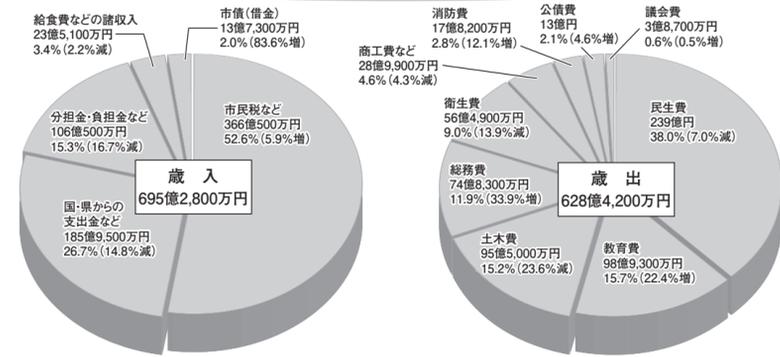


渡部亨代表監査委員による意見陳述



既設の防犯カメラ位置の見直しや増設で犯罪の抑止を

## 一般会計の内訳 (前決算年度対比)



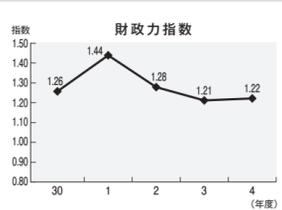
〔国・県からの支出金などの内訳〕 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性エネルギー交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〔商工費などの内訳〕 商工費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費 (注) それぞれの数字は四捨五入等してそそえたため、総額や割合は一致していない場合があります。

〔分担金・負担金などの内訳〕 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

## 監査委員の意見(要旨)

II 一般会計・特別会計 II 令和4年度の財政状況を財政指標で見ると、財政力指数は1.22、経常収支比率は83.5%、実質公債費比率は11.9%で、いずれも財政が健全であることを示している。税収は回復傾向にあるが、大規模事業や物価高騰などによる経費の増加も見込まれるため、引き続き動向を注視していく必要があると考える。



財政力指数とは... 自治体の財政力の能力を示す数値です。

今後の行政経営については、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、社会経済活動が回復しつつある中、物価変動をはじめとした環境変化に適切に対応していくことが求められる。歳入については、自動車関連企業の業績が回復傾向にあること等から、市税の増収が見込まれる。歳出については、JR刈谷駅総合改善等の大規模事業の実施や物価高騰による経費の増加が見込まれるため、コスト削減に努めながら、計画的かつ効率的な事業実施が求められる。また、自然災害においては、引き続き、巨大地震の発生や想定を超える豪雨等の甚大な被害が発生することが懸念されているため、備えを怠らず、災害に強いまちづくりに向け、市民の暮らしを守る取組を強化していくことが望まれる。令和4年度末には、まちづくりのビジョンや将来都市像を示す「第8次刈谷市総合計画」が策定された。市民、事業者と協働して実効性のある事業を展開、また新たな発想や創意工夫による質の高い行政サービスの推進を図りたい。刈谷市が安心安全なまちであり、安心して子どもを生み育てることができ、誰もがいきがいを持ち、にぎわいにあふれた魅力的なまちとなることを期待する。

II 水道事業会計 II 令和4年度の純損益は前年度の4,511万6千円の純損失から1億4,070万円の純損失となった。主要な経営指標をみると、健全性の水準である100%を下回っている。また、料金回収率は73.2%で、前年度に対し大幅に低下している。これは市民生活支援事業による水道料金の基本料金の免除が影響しているが、引き続き、適切な料金収入の確保に努めるとともに経営改善に向けた取組を実施していくことが求められる。節水型社会の進展等により、料金収入の大幅な増加は見込むことが難しい状況である。避難所等の重要給水施設につながる既設管路を耐震管とする事業のほか、配水施設等の修繕や更新などは引き続き計画的に進める必要がある。大規模災害による施設の被災を最小限に抑えるとともに飲料水を確保するなど災害時の体制強化が求められる。

## 議決結果一覧表

(※) : 賛否が分かれたもの

Table with 3 columns: Item Name, Decision, and Remarks. Includes items like '令和4年度一般会計歳入歳出決算認定', '令和5年度補正予算関係', and '建設委員会関係'.